

## 『炭の樹』のアドバイザー

炭やきの会会長・東京大学名誉教授

### 谷田貝光克教授のコメント



以下全文。

「炭の樹」拝見しました。

まず最初に感じたことはインテリアとして優れていることです。

いくつか感想を書かせていただきます。

- ・ **小型で机上にも置くことができ身近に緑の雰囲気を楽しむことができる。**

小型であることもメリットです。鉢植えの観葉植物はよくありますが静置する場所を選らばなければなりません。それに比べて「炭の樹」は小形で机上にも置け緑を楽しめ、また移動が容易であることです。

- ・ **給水紐による給水は新しい発想**

上からの水やりでは水が飛びはねるので周囲を汚します。

下からの紐を伝っての給水で紐に含まれる水の量が一定になればそれ以上の給水はなく、給水量が一定となります。

- ・ **保水性に優れている木炭を使用**

木炭は保水性に優れているので下からの水を常に保ち樹に供給するので水涸れによる枯死を防ぐことができます。

- ・ **多孔性の木炭は保水性に優れ、また通気性にも優れているので植物の成長を助長する。**

木炭は保水性に優れている一方、通気性にも優れているので根に適切な空気を供給し成長にプラスに働く。

- ・ **木炭は再生可能な天然資源**

使い切ったら無くなってしまふ化石資源とは違い樹木を原料とする木炭は再生可能で土にも還る生物資源。化石資源の過度な使用により生じている温暖化を防ぐにも木炭の利用は有効。

- ・外部の容器が垂直で安定感があり、インナーポットも外部容器に適合しているので水涸れを防ぐことができる。

垂直の容器には安定感があります。またインナーポットとの間にすき間がなくサイズが一致していることは水の蒸発を防ぐことになります。

### ・給水作業が容易

インナーポットをもちあげての給水は容易で、手を汚すことがない。

・外部ポットとインナーポットの間が目視できるので水やりの時期を判断できる。ポットの鉢植えは水やりが不足し枯らしてしまうことが多いが「炭の樹」ポットではそれを避けることができる。下半分を紙で被うことで見栄えを良くすることも考えられますが、枯死を防ぐにはこのままの方がよさそうです。定期的に水の追加をやる人ならばカバーがあってもよいかもしれません。が、新しい発想のポットということでこのままで十分です。

炭やきの会会長・東京大学名誉教授  
谷田貝光克